



発行日 令和6年11月発行 第116号

発行元 社会医療法人 昴和会 内山病院 編集委員会

連絡先 鹿児島県阿久根市高松町2番地

TEL:0996-73-1551

FAX:0996-73-4636

Homepage <https://kouwakai-uchiyama.or.jp/>

E-mail uchimt@uchimt.com



巻頭言・・・P1

診療一口メモ・・・P2

部署紹介・・・P2

行事・・・P2

委員会活動・・・P3

年末診療案内・・・P3~4

編集後記・・・P4

巻 頭 言

K I Cプラン 管理者 奥平 美穂子

早いもので2024年も残りわずかとなりました。今年は、新年早々に起こった能登半島地震で始まりました。一瞬にして多くの命や住む場所を奪ってしまった災害に、心を痛め、不安に感じた方も多かったと思います。自然災害は人間の都合は関係なく、容赦なく起こります。日本だけでなく、世界各地でも地震は頻発していますし、他にも豪雨災害、異常気象など自然災害の脅威に防災意識を持つことの重要性を感じているのではないのでしょうか。「備えあれば憂いなし」のことわざのように、普段から食料品や生活必需品などの備蓄を心がけ、もしもの時に大切な命を守るように準備しておきたいものです。今年の夏は1898年の統計開始以降で最も暑く、昨年と並び史上最高を記録しています。あついと言えば、パリ五輪での日本人選手の活躍やドジャース大谷選手の記録更新など、胸を熱くする話題もあり、スポーツに全く興味のない人でもメディアに釘付けになったのではないのでしょうか。



さて話は変わりますが、介護支援専門員（ケアマネジャー）は介護保険法を根拠にケアマネジメントを実施することができる公用資格であることをご存じでしょうか。5年毎に数日間の更新研修を受け続けないと従事できない資格になります。コロナ感染症が拡大していく中で、集合形式だった研修も、環境を整えればここからでもオンラインで受けられるようになりました。また研修以外にもICT化が進んできています。馴れない作業に戸惑いながらも、取り残されないようになんとか携わることができています。基本的にケアマネ業務は人間相手の仕事です。訪問して、面談から困りごとを聞いたり、雑談話から課題を見つけることも多く、対話をとても大切にしています。個別的（individual）に支援ができるように、老々介護、家族支援、



難病支援、困難事例などなど・・・医療や介護、福祉、行政などの多職種間で連携を図りながら、いかなる状況でも利用者様やご家族を支え、寄り添っていきたい。

阿久根市の高齢化率も40%を超え、2030年以降には50%を超える見込みも出ており、生産年齢人口は減少し、高齢高齢人口も緩やかに減少しております。

年齢関係なく、大切なことをあきらめずに好きな場所で生活したいと願うのは誰も同じです。医療や介護においては人手不足など大変厳しい状況が続きますが、皆さんと協力しながら頑張っていきたい。多くの方が、身体をいたわり、好きなことが続けられる生活を送ってほ

しい。来年こそは笑って過ごせる日が多い年であってほしいと願っています。

診療一口メモ

血圧と入浴の関係

濱田 平一郎

めっきり寒い季節となり、温かいお風呂にゆっくりとつかりたくなりますが、血圧が変動することがあり、注意を要する点があります。

お湯の温度としてはぬるく感じる方もいるかもしれませんが、38～40℃が適温で、副交感神経が刺激されて血圧を下げ、心身をリラックス状態に持っていきます。

40℃を過ぎると、40～42℃では交感神経が刺激されて皮膚の末梢神経が収縮してかえって血圧が上昇するようになり、42℃を過ぎると発汗も重なり血液の粘度が上がり血栓ができやすくなるのが危惧されます。(脳出血や脳血栓症の恐れ)

心臓への負担を気にされる方、肺への負担を気にされる方は半身浴(みぞおちから下をお湯につけて、心臓はお湯の上に来るようにする)だと心臓や肺への負担を下げることができ、静水圧(お湯につかっているところにかかる水圧)で足のむくみを改善する効果も得られるかもしれません。

ただし浴室・脱衣所の温度も気にする必要があるため、26-28℃辺りで下がらないようにしないと寒さを感じてストレスがかかることもあり、ヒートショックを起こすこともありますので、十分に温めるほか、肩に保温用のタオルをかけたりして対応するとよいでしょう。

また(防水して)スマホを持ち込んだりすると、脳や目が休まらないためリラックス効果は得られませんので注意してください。

上記の副交感神経の作用に関しては、もともと血圧の低い方ではさらに血圧を下げてしまって湯船からあがる際にめまいやふらつきを伴うこともあるかもしれないためご注意ください。

気を休めるようにゆっくり、ゆったりと入浴しましょう。

部署紹介

管理課

桐原 洋幸

管理課は、男子職員8名、女子4名の計12名のスタッフで日常業務を行っています。管理課の理念としては、施設・設備等を保守管理し、必要に応じて建物改修、環境整備、設備修繕等を効果的な運用にする。利用者(患者様)送迎に、万全に無事故の運用に寄与することを掲げています。業務の内容としては、先生方・デイケア利用者様・透析患者様・他病院、施設への患者搬送などの送迎をはじめ、設備関係の点検・修繕、機器や備品の点検・修理・購入、環境整備関係の院内外の保守管理・清掃活動などの業務を行い、選択・院内清掃業務を行っています。また、昴和会の各施設におきましても建物・設備の維持管理、備品等の点検・修理および環境整備に取り組んでいます。今後も送迎において安全運転に努め、設備保全・環境保全に取り組んでいきたいと思っております。

行事紹介

真和苑 文化祭

真和苑 宮脇 洋子

11月14日に真和苑で文化祭を開催しました。今年の文化祭は「思いを伝えよう」をテーマにちぎり絵のはがきを作成しました。和紙のちぎり絵で秋の味覚の食べ物を作成し、思いを伝えるあいさつ文を綴り本人の写真を添えました。出来上がったはがきは家族や友人などの親しい方へ送り、受け取ったご家族の中には利用者の思いが届き、涙ぐんで喜ばれる方もいらっしゃいました。

委員会活動

医療安全管理委員会

医療安全管理者 石澤 淳子

2002年医療安全管理体制を確保することが法律で義務付けられてから22年になります。当院でも安全文化の醸成を目的に医療安全活動を行っています。

今年度強化して取り組む事として「手順順守の習慣化」「指差し呼称の定着」を目標に各部署で取り組んでいます。が、部署によって取り組み状況に差があることが問題点です。

インシデント・アクシデント発生時「確認はしたが・・・」「ダブルチェックはしたが・・・」発生原因に「確認不足だった」「しっかり確認しなかった・見なかった」「手順を守らなかった・・・」「手順を省略した・・・」「手順を自分がやりやすいように変えた・・・」といった報告が多く、再発防止（何をしておけば防げたか）には「確認の徹底・手順順守・指差し呼称」をしておけばよかったといったコメントが多く書かれています。

ルールというものをつくって守っている事で「何も起こらない」日々が続いていくわけです。手順順守が習慣化し「今日もルールを守って何も起こらなかった」と考えてもらえるようになればと思います。また、指差し呼称の効果は作業の誤りが1/6以下になると言われています。令和4年度から「指差し呼称の定着」に取り組んでいます。なかなか定着しない現状です。今年度は指差し呼称を積極的に行い未然防止に努めましょう。

「手順順守の習慣化」「指差し呼称の定着」に対し各部署での取り組みを今一度振り返り、下期の活動を充実させてくださいますようお願いいたします。

年末年始診療案内

当院の年末年始の診療、下記の通りとなります。

12/27	金	通常通り
12/28	土	午前中のみ
12/29	日	休診日
12/30	月	午前中のみ
12/31	火	休診日
1/1	水	休診日
1/2	木	休診日
1/3	金	当番医

1/4	土	午前中のみ
1/5	日	休診日
1/6	月	通常通り

※緊急の場合、この限りではありません。ご不明なことがございましたら受付にお声掛けください。

個人情報保護法により、早蕨掲載の写真及び名前については本人の同意を得ています。

基本理念

- 1 質の高い思いやりのある医療福祉の実現
- 2 地域に必要とされる医療福祉施設に育成・発展させる

基本方針

- 1 患者の立場に立った高齢者医療介護福祉施設の充実に積極的に寄与する
- 2 プライマリーケアを実践する中で、今までの実績の更なる積み重ねと時代の求めに応じた拡大を目指す
- 3 人材の育成
- 4 経営の安定化・事業の展開
- 5 品質管理（危機管理・安全管理・利用者の満足度向上）

患者の権利

- 1 患者様は、「平等で良質な医療を受ける権利」があります。
- 2 患者様は、「選択と自己決定の権利」があります。
- 3 患者様は、「個人の秘密保持・情報に関する権利」があります。
- 4 患者様は、「尊厳性の権利」があります。
- 5 患者様は、「安全が確保される権利」があります。

患者様の義務

- 1 患者様は、ご自身の健康に関する情報を提供する義務があります。
- 2 患者様は、病院のルールを守り、医療に参加する義務があります。
- 3 患者様は、他の患者様の医療を妨害しない義務があります。
- 4 患者様は、医療費を支払う義務があります。

編集後記

初冬の季節が訪れ、年末年始の準備に忙しさを感じます。皆さんは一年の締めくくり、新たなスタートを迎える時期でもあります。寒さも増し、心も温かい季節。インフルエンザやコロナも流行していますが健康に気をつけ、大切な休息を取ながら、充実した年末年始をお過ごしください。今回、早蕨原稿に御協力くださいました皆様、ありがとうございました。